

製品比較

Helix Core(PERFORCE)と、他のソフトウェア構成管理ツール(もしくはバージョン管理ツール)との比較資料をまとめました。

これらの資料では、それぞれのツールが持つ個々の機能を比較するのではなく、システム管理、アトミックトランザクション、ユーザビリティなどの質に対して焦点を合わせています。

これらの製品比較資料に関してご不明な点は、弊社サポート(ss_support@toyo.co.jp)までご連絡ください。

製品比較

■ [PERFORCE\(2008.1\)とSubversion\(1.5.2\)との比較](#) (PDF形式)

機能面での主要な相違点、典型的な操作(個々)に対する性能測定結果、両システムでのスケーリングの差異等を記載しています。

■ [PERFORCE\(2005.2\)とCVS\(1.11.21\)との比較](#) (PDF形式)

パフォーマンス、アトミックトランザクション、分散開発などに焦点を絞って記載しています。

■ [PERFORCE\(2005.2\)とMicrosoft Visual SourceSafe\[VSS\]\(6.0\)との比較](#) (PDF形式)

主な相違点、システム構成、パフォーマンス、使いやすさ等に焦点を絞って記載しています。

用語集

異なるソフトウェア構成管理システムでは、使われるコマンド及び機能を示すために使用する用語が異なることがあります。以下の表は、PERFORCEのコマンド/機能を一覧表示し、他のいくつかのソフトウェア構成管理(SCM)システムで使用される用語/機能に対応付けたものです。

PERF ORCE	他SCM システ ム	コメント
add	check in, extract part	ファイルを初めてディポに配置することを、add(追加する)といいます。
anno tate	annotate	ファイル内の行とともに、各行が導入されたりビジョンの番号を表示します。機能的にはCVSのannotateコマンドに類似していますが、オプションを付けることにより、削除された行を表示したり、導入したりビジョンと削除したりビジョンとの両方を表示させることができます。
branch	codeline, project, stream	1つのまとまりとして管理可能な、関連するファイルの集合。PERFORCEでブランチを作成すると、反映元と反映先のファイルとの関係が保持されます。
chan gelist	change set	PERFORCEでは、複数のファイルへの関連する変更を単一の不可分なトランザクションにグループ化することができます。
client work space	project, view, sandbox, family+release+component+work area	ソース管理の対象であるファイルのローカルコピーを操作する場所となる、コンピュータ上のディレクトリ構造。このワークスペースには1つ以上のプロジェクトおよびコードラインを含めることができます。
depot	repository, archive, VOB	ソースコードおよび関連するファイルの主要な格納場所。PERFORCEサーバは1つ以上のディポを管理し、ディポはクライアント/サーバのネットワーク接続を経由してクライアントワークスペースにマッピングされます。サーバのファイルシステムをクライアントコンピュータにマウントする必要はありません。
edit	check out (for edit)	PERFORCEでは、複数のユーザが同じファイルを編集目的で作業状態にでき、その後変更が上書きされないように差分を解決します。

head revisi on	tip revision , head	ファイルの最新のリビジョン。
integ rate	merge, branch	選択された変更を1つのコードラインから別のコードラインへと伝達します。
job	work order, change request, ECO	バグ報告や改善要求などの作業要求。PERFORCEを使用して、ジョブをチェンジリストに関連付け、ジョブが必要とする作業を記録することができます。
label	baselin e, tag	ユーザ指定のファイルリビジョンに名前を付けたリスト。
merge	merge	2つの衝突するファイルリビジョンの内容を単一のファイルに結合するか、衝突するファイルのうち一方を受け入れて他方を破棄することにより、ファイルの衝突を解決します。
resol ve	merge	ファイルの2つのリビジョン間の違いを調整します。
revert	uncheck out, undo checko ut, unlock revision or part	クライアントコンピュータ上のファイルに加えたあらゆる変更を破棄し、ディポ(共有のレポジトリ)のバージョンをクライアントワークスペースへとコピーします。
subm it	check in, put	クライアントワークスペース内のファイルを変更した後に、変更をディポへとサブミットします。
sync	check out tip, refresh, extract part, get version	ファイルをディポ(共有のレポジトリ)からクライアントワークスペースへとコピーします。